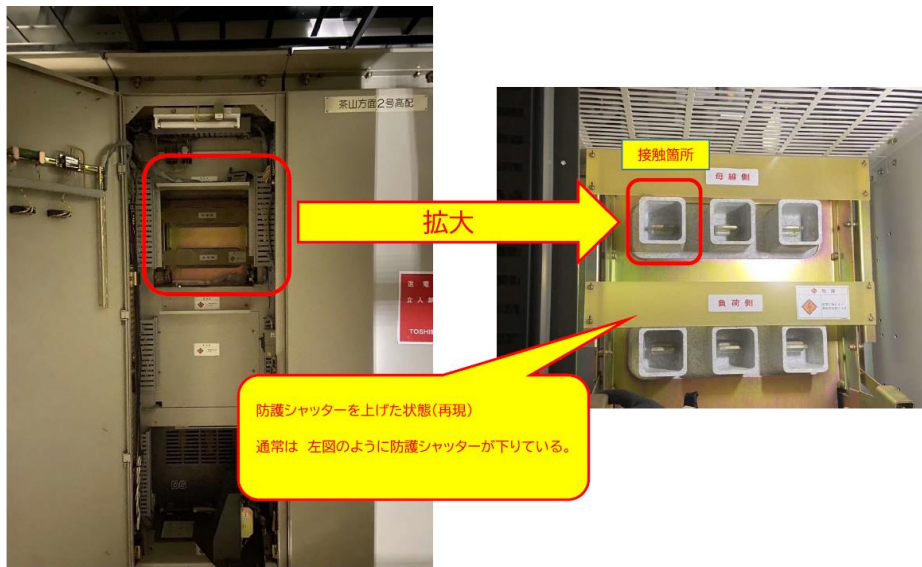


公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 6 年 9 月 6 日(金曜日) 1 時 38 分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	電気	性別	男性	年齢	41	業種区分	設備
被災程度	右手中指・人差し指、左手前腕の火傷			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	4日以上
工事概要	電気設備の保守業務						
事故概要	電気設備を定期点検中、点検作業員の感電負傷事故が発生した。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・停電を伴う作業に当たっては、作業前に全作業員に対し、当日の停電範囲や作業内容について確実に周知し、それ以外の箇所での作業を厳禁とすることとしていたが、それらが充分でなかった。 ・作業時に感電する恐れがある箇所について、作業前に充電状態であることが認識できるような表示等の貼付けを実施していなかった。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・感電災害の再発防止について(停電範囲や作業内容の周知、危険箇所表示の徹底等)、研修にて作業責任者や作業員に対して再周知、再確認を実施。 ・充電状態であることを示す表示札を貼付けていることを確認。 						

事故状況図

通常は、左図のように防護シャッターが下りた状態であり、当日の作業内容は盤内目視点検であったため、防護シャッターを上げる必要はなかった。しかし、被災者は当日の作業内容を誤認していたため、右図のように防護シャッターを上げて端子部のグリスアップ・清掃をしようと充電部に触れてしまった。



改善状況図



作業前の段階で、充電状態であることを示す表示札貼付けを実施。